

# 松本人気質を

松本人は、理屈っぽく、人づき合いが下手だ、  
と思っている。  
「私のまつもと」シリーズを始める  
にあたって行つた市民八百人アンケートの  
中で、それぞれ一、二位を占めた  
答えなのだが、果たしてどうなのか。  
県内外で活躍する  
松本市出身の方々から松本人論を  
寄せて頂いた。

松本市制80周年  
記念キャンペーン

コミュニケーション



松本に生まれ育った私が  
誇りに思るのは、松本の人たちが文化的・知的風土に  
敏感なことである。そうし  
た環境の中で、私自身幼時  
から鈴木鎮一先生（バイオ  
リン）や石井柏亭先生（絵  
画）、若山喜志子先生（歌  
人）のような偉大な個性に  
接することができたし、一  
志茂樹園長の松本幼稚園か  
ら岡田甫校長の松本深志高  
校に至るまで、この間、源

池小学校、清水中学校とい  
ういずれも素晴らしい学校  
で大いに育（はぐくんで）  
ただいた。

こうした風土の中で松本  
人は、日本の発展を政治や  
行政においてではなく、文  
化や教育において担うのだ  
という自意識をもつてい  
る。

だが、このことは半面で  
ある種の排他性をもたら  
し、島国根性ならぬ・山国

## 松本人の 両義性

（東京外国语大学教授  
中国学）・評論家 中嶋嶺雄

中嶋嶺雄

昭和  
次第に  
てから

本人は  
べきか  
史実  
一般的な  
と、高  
と、そ  
とでも  
だ。偏  
ていて、  
ら世界のぞくことにもな  
りかねない。

今、松本人に求められる  
のは、松本の良さをスパイ  
ルする軽薄な東京志向では  
なく、二十一世紀に向けて  
の開かれたローカリズムだ  
といえよう。

本  
と、高  
て、高  
松本へ  
の心中  
松本へ  
べて、  
松本へ  
てから